

大会名 Competition	第47回東北中学バスケットボール大会 【男子準決勝】			
NO. C-2	Year	Month	Day	Time
	2017	年 8	月 10	日 10 : 20
場所 Place	CNAアリーナ★あきた			

秋田県中学校体育連盟
秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB
山王	(19 1st 12)	山形第六
72	(18 2nd 12)	54
○	(19 3rd 14)	●
	(16 4th 16)	
	／ OT ／	

主審:Referee
平林 達哉 福島県
副審:Umpire
高橋 和也 宮城県
テーブルオフィシャル:Table officials
秋田市立秋田東中学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	新保 星弥	CAP	6	1	1	1	1	4	×	漆山 蓮	CAP	28	3	9	1	3
5	×	菅原 大雅		12	0	4	4	2	5	×	井上 喬介		6	2	0	0	2
6	×	上村 大佐		22	0	9	4	1	6	／	川合 皇也		0	0	0	0	2
7	×	藤井 幹太		9	1	2	2	1	7		伊藤 昇馬		-	-	-	-	-
8	×	星 一輝		23	0	8	7	2	8		渡辺 岳斗		-	-	-	-	-
9		嵯峨 瑞基		-	-	-	-	-	9		酒井 悠斗		-	-	-	-	-
10		平川 巧太		-	-	-	-	-	10	×	田中 晴瑠世		8	0	3	2	4
11	／	工藤 悠		0	0	0	0	0	11		吉田 龍翔		-	-	-	-	-
12		佐藤 幸哉		-	-	-	-	-	12		井上 芳真		-	-	-	-	-
13	／	工藤 凌		0	0	0	0	0	13	×	足立 翔		4	0	2	0	2
14		大山 璃人		-	-	-	-	-	14	×	高橋 拓生		6	0	3	0	2
15		太田 響		-	-	-	-	-	15		神保 優斗		-	-	-	-	-
16		仙北谷 蓮葉		-	-	-	-	-	16		森 成雅		-	-	-	-	-
17		久住 和也		-	-	-	-	-	17		浅野 弘斗		-	-	-	-	-
18		古屋 脩斗		-	-	-	-	-	18	／	加藤 律輝		2	0	1	0	2
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
監督		相場 堅祐							監督		遠藤 寿浩						
コーチ		三浦 一弘							コーチ		沼澤 靖浩						
合計				72	2	24	18	7	合計				54	5	18	3	17

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

#6上村のドライブからのシュートで山王が先制。バスケットカウントでフリースローも決め、山王がいい形でのスタートを切った。その後、お互いに確実にシュートチャンスをものにし、ピリオド半分を過ぎて、9対9のイーブン。山形第六#5井上(喬)に3Pを決められるものの、#6上村のリバウンドからの2連続シュート、#8星のジャンプシュートなどで逆転し、19対12の山王リードで第1Qを終了。山形第六は、残り3分を切ってから無得点であった。

第2Qに入っても、#5菅原のリバウンドからのシュート、#7藤井の3P、#8星のドライブからのシュートなどで少しずつ点差を広げる。山形第六は、残り5分30秒あたりでチャージドタイムアウトを請求し流れを切ろうとするが、山王も取られたら取り返すというパターンでさらに点差を広げ、37対24の13点差で前半を折り返した。

後半は山形第六#14高橋のジャンプシュートでスタートした。しかし、山王#6上村や#8星のドライブからのシュート、#5菅原のリバウンドからのシュート、#4新保のフリースローなどでさらにその差を広げ、ピリオド半分を過ぎて20点以上の差がついた。山形第六は、その後も得点をなかなか伸ばしていくことができず、第3Qを終了した。依然山王が56対38の18点差でリードを保つ。

第4Qに入り、両者ともシュートの精度を欠き、ロースコアな展開となった。残り3分52秒で山形第六のチャージドタイムアウト。ゲームが再開すると山形第六は、オールコートマンツーマンプレスDefを仕掛け、山王にプレッシャーをかける。山王にパスミスが続いたため、たまたま2回のタイムアウト。この苦しい場面で、山王#4新保の3P、#7藤井のフリースローが決まり、山形第六の流れを止める。結局、山王が72対54で粘る山形第六を振り切り、全国大会出場を決めた。